

# 医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 43 号

2009 年 10 月 19 日

日本医労連増員闘争本部

TEL:03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

茨城県医労連

## 「看護のよろこびと医療の未来 を考えるフォーラム」を開催

主催：茨城保健生協・茨城県看護協会・茨城民医連・茨城県医労連

「人間が人間を看護する喜び、看護の原点を振り返り、医療の未来を考えよう」と10月17日、茨城県水戸市内でフォーラムが開かれました。

これまで「ナースウェーブ行動」などでは、県医労連や民医連、保健生協との共同の取り組みが進められてきましたが、同フォーラムを準備するにあたり県看護協会が正式に実行委員会に参加をして戴きました。

後援には茨城県や県医師会のほか県薬剤師会など医療関係の職能団体、県内マスコミ各社が名を連ね、これまでに4回の実行委員会が開かれてきました。

この日、実行委員会のよびかけに、国立や厚生連、保健生協、民医連、日立総合病院など、県内の医療機関に働く看護師や看護学校の教員・学生、一般市民ら約260名が参加、学習と交流を深めました。

恩蔵守子実行委員長（城南病院看護師）の開会挨拶のあと、6人の看護師・助産師から「看護のよろこび・輝きのとき」をテーマに、自らの体験や思いをリレートーク（写真上）で報告がされました。



—ご協力いただいたみなさん 敬称略—

＜後援団体＞茨城県・茨城県医師会・茨城県保険医協会・茨城新聞社・茨城放送・常陽新聞新報社・読売新聞社水戸支社・朝日新聞水戸総局・毎日新聞水戸支局・産経新聞水戸支社・茨城県臨床検査技師会・茨城県薬剤師会茨城県理学療法士会・茨城県栄養士会・茨城県放射線技師会

＜協賛団体＞全医労茨城地区協・翠清福祉会・茨城保健福祉企画・茨城県労連・茨城自治労連・茨城高教組・茨城コブ労組

生まれてくる子ども、生まれてくるいのちと接するなかで、自分が働き続ける力を貰ったように思う。

訪問先で在宅の患者さんの看取りを体験した。清拭をし、化粧をしてあげた。その時の遺族との語らいが今も自分の励みになっている—など、それぞれの報告者が語る「看護のよろこび」に会場からは共感の拍手が続きました。

続いて「看護の原点と医療の未来を考える」と題して川島みどり氏が講演。IT化が広がるなかで「患者に直接触れて脈を診ることも少なくなっている」とし、看護の原点に立ち返ることの重要性を具体的な事例をあげて強調されました。

情報

日本看護協会「看護職確保定着推進関係団体連絡会」  
10月22日 18時～20時  
日本医労連から田中委員長、桂木書記次長が参加します。